

日本語入力がおかしい？

Q

ローマ字入力で「はいけい(拝啓)」と入れたのに、表示が「くちにのいに」と、変な日本語になってしまいました。これを直すにはどうしたらよいのか教えてください。(兵庫県、ISさん)

A

何らかの原因で、ローマ字入力モードが、かな入力モードに切り替わってしまったのが原因です。

キーボードの日本語入力モードには、アルファベットを組み合わせて入力する「ローマ字入力」と、ひらがなで入力する「かな入力」の2種類があります。文字を打ち込んでいる最中に間違ったキーを押して、この2つが切り替わることがあります。ご質問のケースでは、[Alt] キーと[カタカナ/ひらがな/ローマ字] キーを同時に押せば、ローマ字入力に戻ります。なお、キーの働きは日本語変換ソフトによって異なります。ここでは、Windowsに標準のMS-IMEを例とします。

ほかに、「ひらがな入力がカタカナ入力に切り替わった」などもよくある

トラブルです。やみくもにキーを押していると直ることが多いので見過ごしがちですが、一度整理しましょう(右下の表参照)。

[カタカナ/ひらがな/ローマ字] キーは、ローマ字入力とかな入力の切り替えや、[Shift] キーと同時に押すとひらがな入力とカタカナ入力の切り替えが可能です。その左隣にある[前候補/変換/全候補] キーは、入力した文章を文節に区切ったり、単語を漢字/全角カタカナ/半角カタカナに変換したりできます。

一方、[無変換] キーは、入力した単語を漢字以外のひらがな、全角カタカナ、半角カタカナに変換します。変換候補がない状態で[無変換] キーを押すと、ひらがな入力、全角カタカナ入力、半角カタカナ入力の順に切り替えることが可能です。変換に

ついては、キーボード上方に並ぶ[F6]～[F10] キーを使うのも便利です。[F6] はひらがな、[F7] は全角カタカナ、[F8] は半角カタカナ、[F9] は全角英数字、[F10] は半角英数字にそれぞれ一発変換できます。なお、「はいけい」が「haikai」とローマ字になる場合は、[Alt] と[半角/全角/漢字] を同時押しして、英数字入力からひらがな入力に戻してください。

小文字で入力したはずのアルファベットが大文字になる場合は、テンキーの上部分などにある3つのランプを確認しましょう。中央のランプが点灯しているはずですが、[CapsLock] キーと[Shift] キーを同時に押せばランプが消え、小文字入力に戻ります。類似のキーに[NumLock] キーがあります。テンキーの左上に位置しており、テンキーを使つての数字入力を可能にします。左側のランプが点灯している場合はテンキーで数字入力が可能です。消えている場合は[NumLock] キーを押しましょう。

●日本語変換に使用する主なキー ※写真は109日本語キーボード



Caps Lock 英数 無変換 前候補 変換(次候補) 全候補 カタカナ ひらがな ローマ字

カタカナ ひらがな ローマ字	+ Alt	ローマ字入力とかな入力を切り替える
	+ Shift	ひらがな入力とカタカナ入力を切り替える
前候補 変換(次候補) 全候補		漢字を含む全角カタカナ、半角カタカナに変換する
無変換	変換候補あり	ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナに変換する
	変換候補なし	ひらがな入力、全角カタカナ入力、半角カタカナ入力に切り替わる
半角/全角 漢字	+ Alt	英数字入力とひらがな入力を切り替える
Caps Lock 英数	+ Shift	アルファベットの太文字入力と小文字入力を切り替える

IP電話とケーブル電話はどう違う？

Q 私の住む地域では、プロバイダーとケーブルテレビ事業者が電話サービスを提供しています。しかし各サービスの違いが分かりません。どちらがお得なのでしょう？ (東京都、A.Mさん)

A 電話サービスには、NTTが提供している「加入電話」のほかにも、いくつかあります。ここ1年でユーザー数を増やしているのが、ヤフーやニフティなどのADSLプロバイダーが提供している「IP電話」です。さらにケーブルテレビ事業者が提供している「ケーブルフォン」もあります。ジュビターテレコム「J-COM Phone」がそれに該当します。

どちらの電話サービスも、NTTの加入電話よりも低料金な点が特徴です。特にIP電話は、基本的にサービス利用者同士なら無料、加入電話へも国内ならどこでも3分間で7.5～8円と、加入電話同士より安くなります。一方、ケーブルフォンは、サービス利用者同士の通話でも無料では

なく、市内なら3分5円で提供しています。NTTが持つ加入電話回線網への接続を極力避けているので、加入電話よりは安いのです。

仕組みの違いで一長一短

一般にNTTの加入電話では、加入電話回線網に音声をアナログ信号のまま流します。実はケーブルフォンも仕組みは同じです。加入電話回線の代わりにケーブルテレビ事業者が構築したケーブル回線網に、音声をアナログ信号のまま伝送します。通話をすると、音声は一度ケーブルテレビの回線網に伝送されます。その後の経路は通話先によって変わります。ケーブルフォン同士の通話は、NTTの加入者回線網への接続料が不要なため安くなります。さらに加

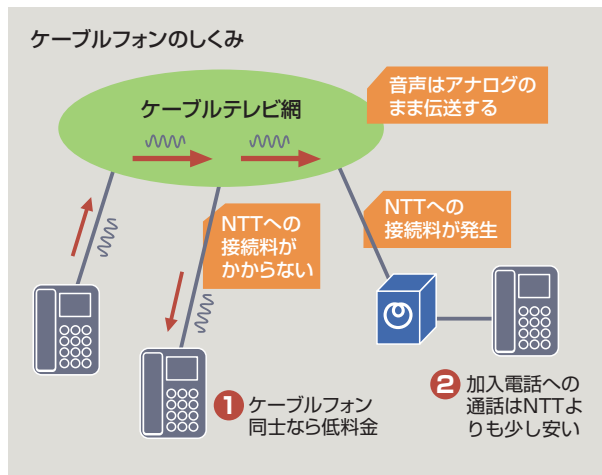
入電話への通話料も通常より低く設定されています。通話の音質も加入電話と同等です。

ケーブルフォンは、仕組みが加入電話と同じなので使用中の電話機をそのまま利用でき、追加の機器も不要です。またIP電話では受けられないキャッチホンなどの付加サービスがあるなど、加入電話と同様の使い勝手がケーブルフォンの魅力です。

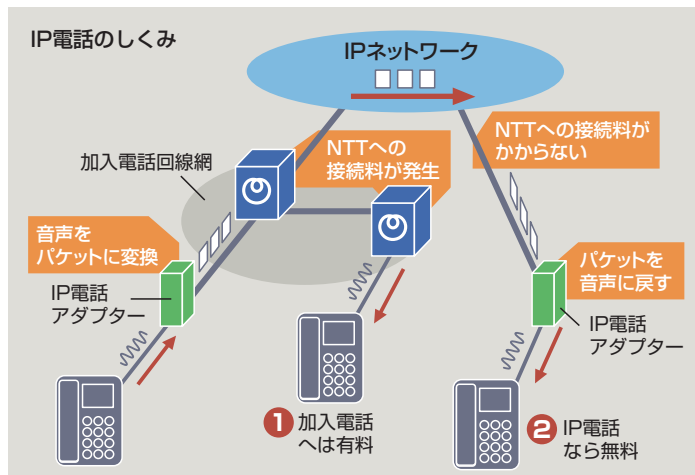
一方、IP電話は「IPネットワーク」つまりIP（インターネットプロトコル）で接続した回線網で音声をやり取りする方式です。通話時は、まず音声を発信元でアナログ信号から「パケット」という小さなデジタルデータの固まりに変換。それをIPネットワークに伝送、着信先で音声に戻します。電話機は従来のものが使えますが、信号の変換にIP電話アダプターか専用モデムが必要です。

IPネットワークを利用するので、サービス利用者同士の通話なら無料

●どちらも独自の回線網を利用することで低コスト化を図っている



音声はアナログ信号のままケーブルテレビ網に伝送する。ケーブルフォン同士ならNTTの接続料がかからないため低料金



IP電話では、アナログの音声信号を「パケット」という小さなデジタルデータの固まりへ変換、インターネットと同じ回線網に流すことで低料金化を図っている

●月々の通話料が悩みの種ならIP電話がおすすめ

主な電話サービスの詳細				
事業者	ヤフー	ニフティ	ジュビターテレコム	NTT東日本
サービス名	BBフォン	@niftyフォン	J-COM Phone	加入電話
初期費用	3850円	3850円	6000円 (一戸建ては2万円)	7万2800円
各電話サービスの通話料				
加入電話への通話	3分7.5円(全国一律)	3分8円(全国一律)	3分7.9円(市内)	3分8.5円(市内)
携帯電話への通話	1分25円(8~23時)	1分30円※1	1分30円※1	1分30円※1
国際電話への通話	1分2.5円(米国)	1分9円(米国)	1分53円(米国)※2	1分53円(米国)※2
同じ電話サービス利用者への通話	無料	無料	3分5円(市内)	3分8.5円(市内)

遠距離の通話料はIP電話がかなり安い。ケーブルフォンは、サービス利用者同士の通話以外は、加入電話とさほど変わらない。頻ぱんに通話するならIP電話がお得だ

※1=NTTドコモを利用した場合(8~19時) ※2=NTTコミュニケーションズを利用した場合

です。メールのやり取りで通信料が無料なのと同じことです。IP電話サービスから加入電話への通話は、加入電話回線の接続が必要なため無料ではありません。しかし、通話料は全国一律です。IPネットワークはケーブルテレビ回線に比べて大規模なため、IP電話の遠距離通話料はケーブルフォンより安い傾向にあります。

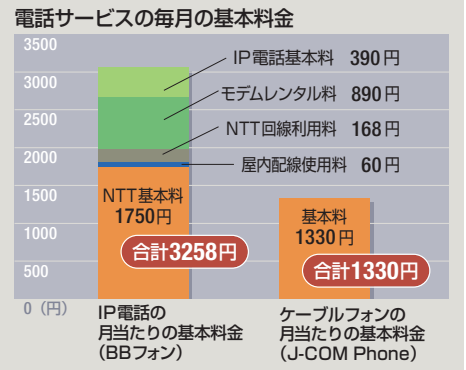
IP電話は始めてまだ間もないサービスだけに、利用上の制限もあります。同じプロバイダーのサービス利用者同士でも無料で通話できない場合があるのです。これは、ほとんどのプロバイダーが電話事業者からIPネットワークの提供を受けている

からです。同じプロバイダーでも契約した電話事業者が異なる場合は、無料通話ができないのです。

また、音声デジタル信号に変換して伝送する仕組み上、回線速度や混雑状況により音声の途切れや遅延などが発生する可能性があります。電話サービスでは、電話事業者が用意した音声専用のIPネットワークを利用することで音質が回線に左右されないようにしています。

結局は利用環境次第

ケーブルテレビの加入者や導入済みマンションの入居者なら、ケーブルフォンは良い選択肢です。毎月の



電話サービス単独の基本料金。BBフォンの場合、インターネット基本料にIP電話基本料が含まれるため、ADSL利用者ならほぼ同じ料金でIP電話サービスを受けられる

基本料金は1330円と最も安く、通話料でもNTTの加入電話より割安です。IP電話と比べてもサービスや通話音質の面で有利です。

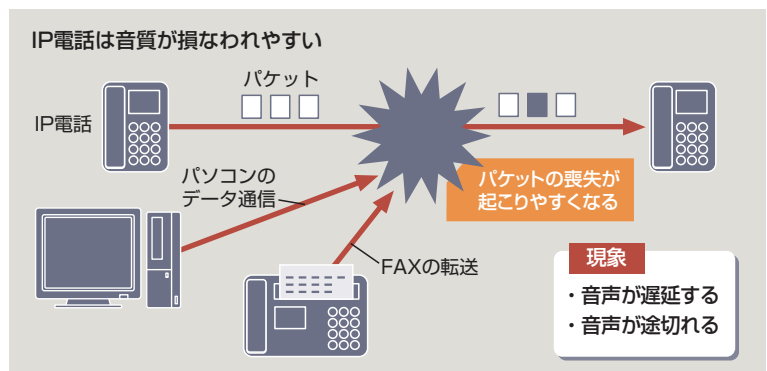
もし、インターネットをADSL回線で利用しているならば、わざわざケーブルフォンに加入する必要はないでしょう。最近では多くのADSLインターネットサービスにIP電話サービスが含まれていて、ADSLユーザーはインターネット接続料金と変わらないか、500円程度の上乗せでサービスを受けられるからです。特に通話回数が多いユーザーにはIP電話サービスは魅力です。

(中村 稔=ライター)

●サービスや通話音質など、電話としての使い勝手はケーブルフォンが上

加入電話との間で利用できるサービス	IP電話 (@niftyフォン)	ケーブルフォン (J-COM Phone)
キャッチホン	×	○
発信者の番号表示 (ナンバーディスプレイ)	○	○
発信者の番号通知	×	○
加入電話の電話番号を使う	○	○

ケーブルフォンでは、しくみがNTTの加入電話と大差ないため、IP電話より各種のサービスを受けやすい



IP電話の音質はだいぶ向上したとはいえ、いったんデジタル信号に変換して通信するため、IPネットワーク回線の速度や混雑状況に左右されやすい

設定変更で危険度に違い？

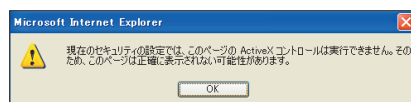
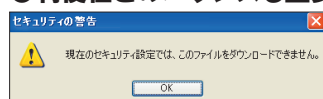
Q IEのセキュリティ設定ではカスタマイズができますが、「無効」を「有効」と切り替えることでどのくらい危険になるのか、または安全になるのか教えてください。(京都府、M.Kさん)

A Internet Explorer (以下、IE)のセキュリティ設定は「ツール」→「インターネットオプション」の[セキュリティ]タブにある「レベルのカスタマイズ」でカスタマイズできます。設定できる項目は「ActiveXコントロールとプラグイン」「Microsoft VM」「スクリプト」「その他」「ダウンロード」「ユーザー認証」と大きく6つのカテゴリーに分かれており、全部で23項目にも及びます。

ここではすべてを解説できませんが、特に重要な項目に絞って見ていきましょう。まず「ActiveXコントロールとプラグイン」では、Webページ上でプログラムを動かすことができる「ActiveX」についての設定を行います。ActiveXとはマイクロソフトが開発したインターネット関連技術の総称で、この技術を使って音声や動画を交えたWebサイトを閲覧できます。

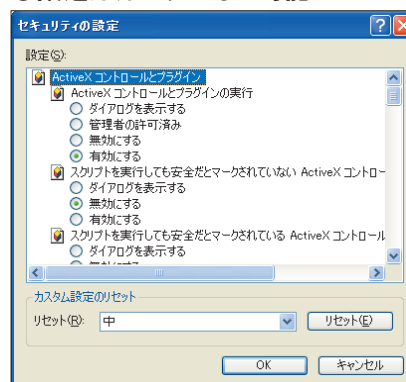
一方で、突然身に覚えのない通信

●利便性とのバランスも重要



セキュリティ設定を厳重に行うことで攻撃を受ける危険性は低くなるものの、Webサイトが表示されなかったり、警告メッセージが多発するようになる

●設定はカスタマイズ可能



IEのセキュリティ設定は「既定のレベル」で高・中・中低・低の4段階の切り替えができるほか、「レベルのカスタマイズ」において、レベルごとに自分流にカスタマイズすることもできる

料の請求が届いてしまう不正自動架電は、ActiveXコントロールを利用したものです。これを無効にしておくことで、こうした悪意のあるサイトからの攻撃を防ぐことはできますが、Windows UpdateやFlashを多用しているサイトなどは正常に利用できなくなります。

同様に、Webページの修飾や利便性の向上に使われるJavaの設定を行う「スクリプト」も注意したい項目です。世間を騒がせた「Nimda」「W32/Klez」といったウイルスは、「スクリプト」項目にある「アクティブスクリプト」を無効にしておけば防ぐことができます。

このように利便性とセキュリティはある意味、裏腹の関係にあります。バランスを考えながら設定を変更しましょう。

